

眼科をもっと身近に～

眼科外来

基本となる検査の紹介

眼科来ると まず見えてくるのが2台の機械です。



オートレフケラトメーター

右側がノンコンタクトメーター（ノンコン）
空気が出てきて**眼圧**（目の硬さ）を調べます
緑内障の診察には不可欠です。

その他にも眼圧を測定する機械は～



アイケア（持ち運び式）

上の突き出た所は、おでこに当て
下の突き出た所から針のようなものが
飛び出して来ます。先は丸いため痛みは感じません
（針は使い捨てです）

- ・ 診察室の眼圧測定には、スリットの機械に**アプラネーション（アプラ）**を用いて
直接目に当てて測ります
（消毒しています）



刺激があるためベノキシール点眼（痛み止め）をしてから医師が測ります

次は左側、**オートレフケラトメーター**
初診の時はほとんど使用されます
中をのぞくと気球が見えます。
その間に赤外線を網膜へ投影し、
反射光から屈折度数を自動で計算してくれます。



屈折の状態がわかり（遠視・近視・乱視）**視力検査**のもととなります。
角膜の曲率半径も測定できるので、白内障のレンズ選びの検査の参考値
としても使用されます。

次は、皆さんもよく知っている視力検査です

～眼科に来て体験しませんか？～